



2月5日(土)に行われる「南畑ふれあい劇場」(P21参照)での公演に向けた稽古にて

今月のFujimist

岸 信次 さん
(南畑お月見一座座長)

☎ 南畑公民館 ☎049-251-5663



「演劇を極めるとか、文化活動を振興するというより、とにかく地域に元気を届けたい。人と人との出会いの輪を広げたい。それが私たちの一番の活動目的です。そう語るのは、南畑公民館を中心に活動する市民劇団「南畑お月見一座」座長の岸信次さん。

南畑公民館で行われた荒川村(現：秩父市)の高齢者劇団の公演をきっかけに南畑地域の住民で結成されたのが20年余り前のこと。当時集まったのは演劇の未経験者ばかりだったが、監督などの役割を固定せず、それぞれの個性を活かして、メイクや小道具などすべて自分たちで仕上げることにこだわった。真面目さとユーモアが絶妙にマッチした独特の喜劇は、客席に笑いの渦を巻き起こしてきた。また、農家の後継者不足や高齢者のオレオレ詐欺被害などの地域の課題や時事ネタを扱った公演などを続けてきたことが評価され、平成21年に県のシラコバト賞を、平成25年には県の文化ともしび賞を受賞している。





岸さんは、平成17年から3代目の座長として一座をまと

めてきた。「前任の方から座長を引き継いだ時は、素人の私にこの個性派集団をまとめていけるか不安でしたが、何かあっても力を合わせて乗り越えてくれました。団員のみんなが頑張ってくれるから、よろこびこそあれ、苦労などありませんでしたよ。思い返してみると作品1つひとつにいろいろな出来事があって、当時の思い出が色鮮やかによみがえってきます。みんな忙しくてなかなか再演ができないのが少し寂しいですね」と想いを語ってくれました。

長年、岸さんが座長を続けてきた背景には、やはり南畑地域に対する愛情がある。「私たちが暮らす南畑は、人と人とのつながりが深く、人情味あふれるあたたかい地域。そんな私たちの自慢のふるさとに、演劇を通して貢献したい。団員一同、そんな想いで稽古に励んでいます」。活動の充実ぶりを表すように、稽古中も笑いがあふれる南畑お月見一座。コロナ禍に負けない笑顔が、人と地域の絆を強めていく。

広報「富士見」は、市内の公共施設や駅などにも置いてあります。声の広報「富士見」(音声DASVYプレイヤー)版は市内図書館で貸し出しています(市ホームページで聴くこともできます)。



<p>■市公式ホームページ</p> 	<p>■ SNS</p>   	<p>【カタログポケット】広報「富士見」を多言語で</p> <p>【マチイロ】広報「富士見」をスマートフォンで</p> <p>【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴</p>	<p>人口と世帯数(1月1日現在)</p> <p>人 □…112,420人(前月比 -11人) (男 55,276人 女 57,144人)</p> <p>世帯数…53,683世帯(前月比 +8世帯)</p>
---	--	--	---

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。